



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

市政レポート

1/21 富士可鍛工業

解体・土壌対策工事 説明会



住吉町3丁目に建設が計画されている(仮称)レゾンシティ安城住吉町について、建設予定地にある既存工場の解体と土壌改良に関する説明会が1月21日に住吉町内公民館で行われました。解体についての説明会は今回で3回目となります。

アスベスト対策に不安

この日の説明会の中で最大のポイントはアスベスト問題でした。

過去の説明会で解体業者社長より、「アスベストを含むスレートについては十分湿潤化して手作業で解体する。」と説明がありました。つまり、水をかけることで飛散を防止するという内容でした。

ところが、近隣住民から「解体工事の様子を見ていたが、一切水をかけていなかった。」との指摘がなされ、併せて粉塵が舞うスレート解体工事の写真が示されました。この日は解体業者社長が入院中ということで代理の社員が出席していましたが、「高所の作業で危険なので水はかけなかった。」と社長の説明と180度異なる発言が飛び出しました。決定権を持たず現場にも詳しくない社員を代理人にした同社の対応にも批判が集まりました。

「有資格者が工事を行っていたのなら、知っていて潤湿化を怠ったことになり尚更悪質だ。」と住民の怒りの矛先は施主代理の弁護士に向き、「マニュアル通り工事を行っている」と報告を受けていた。確認し後日連絡する。」と問題を持ち帰りました。

弁護士は解体・土壌対策工事に関する説明会をこの日で打ち切り、後は個別対応に切り替える意向です。しかし、安全管理の根幹部分に重大な疑義が残る以上、住民の納得は得られるはずが無く、誠意ある対応が求められます。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南
電話 0566-98-6932 メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp

編集：石川つばさを支援する会